

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-200754

(43) 公開日 平成7年(1995)8月4日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 K 17/00
19/06
19/08

識別記号

R

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 0 6 K 19/ 00

A

F

審査請求 未請求 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平5-349269

(22) 出願日

平成5年(1993)12月28日

(71) 出願人 000003632

株式会社田村電機製作所

東京都目黒区下目黒2丁目2番3号

(71) 出願人 000133951

株式会社エヌ・ティ・ティ・テレカ

東京都新宿区西新宿1丁目24番1号

(72) 発明者 井上 明雄

東京都目黒区下目黒2丁目2番3号 株式

会社田村電機製作所内

(72) 発明者 後藤 英明

東京都新宿区西新宿1丁目24番1号 株式

会社エヌ・ティ・ティ・テレカ内

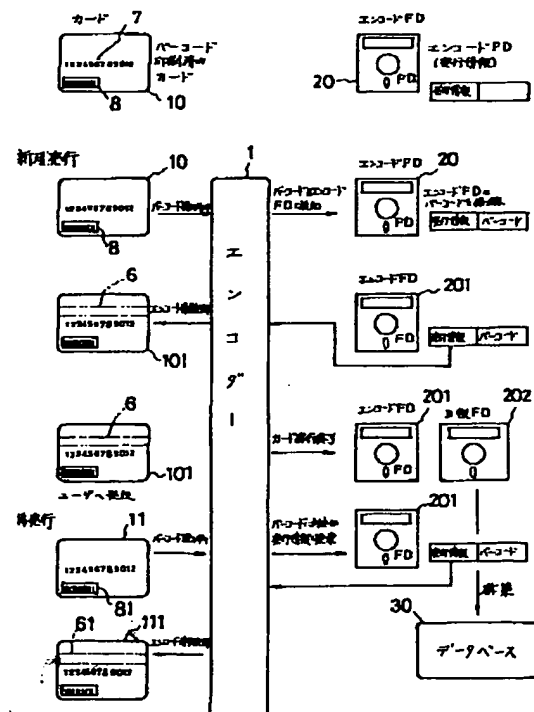
(74) 代理人 弁理士 山川 政樹 (外1名)

(54) 【発明の名称】 磁気カード発行管理方法

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 検索時間の短縮化と、作業の効率化およびセキュリティの保護を図る。

【構成】 未記録カード10には、顧客に対応した管理番号7と、管理番号7に対応したバーコード8とが、それぞれ印刷されている。媒体であるエンコードFD20には、予め前記バーコード8の識別データに対応したエンコード情報が格納されている。そして、エンコーダ1により読取った未記録カード10のバーコード8の情報をエンコーダFD20のエンコーダ情報と対にして格納する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 磁気カードに付されたバーコード情報に対応した価値情報を磁気カードにエンコードして磁気カードを発行するとともに、価値情報とバーコード情報とを対にして媒体に格納したことを特徴とする磁気カード発行管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、テレホンカード等の磁気カードに金額等の価値情報をエンコードし、これを管理する磁気カード発行管理方法に関し、特に磁気カード毎に固有の価値情報を有する磁気カードの発行管理方法に関する。

【0002】

【従来技術】例えば、この種の磁気カードとしては、支払料金を後払いとしたクレジット方式のカードがある。この方式のカードは、磁気ストライプにエンコードされた固有の価値情報に対応して、管理番号が印刷されている。そして、この種の磁気カードの発行管理方法では、管理番号とこの管理番号に対応した価値情報とをパソコンに入力してデータベースを構築している。したがって、追加注文や再発行が必要なときは、再発行カードの管理番号をパソコンに入力してデータベースから価値情報を検索して、この価値情報をエンコードに入力して、未記録の磁気カードに所定の価値情報をエンコードしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述した従来の磁気カード発行管理方法においては、データベースを構築するのに、マニュアル操作により管理番号と価値情報を1件1件パソコンに入力しなければならないので、膨大な数の情報を管理する場合に、入力に手間がかかり、時間がかかるとともに、マニュアル操作で行うため、煩雑であるとともに、間違いを生じ易いといった問題があった。また、価値情報の入力、呼び出しをマニュアル操作により行うため、データベースの固有データを画面表示可能となり、このためセキュリティが損なわれるといった問題もあった。

【0004】したがって、本発明は上記した従来の問題に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、迅速でかつ自動的にエンコード情報をエンコードに入力するようにし、もって検索時間の短縮化と作業の効率化およびセキュリティの保護を図った磁気カード発行管理方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するために、本発明に係る磁気カード発行管理方法は、磁気カードに付されたバーコード情報に対応した価値情報を磁気カードにエンコードして磁気カードを発行するとともに、価値情報とバーコード情報とを対にして媒体に格納

する。

【0006】

【作用】本発明によれば、価値情報とバーコード情報が対で媒体に格納されているので、媒体を介してバーコード情報から価値情報が検索される。

【0007】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図に基づいて説明する。図1は本発明に係る磁気カード発行管理方法を示すブロック図、図2は本発明に係る磁気カード発行管理方法に使用される磁気カード発行装置の外観図、図3は同じく磁気カードの平面図である。これらの図において、全体を符号1で示すエンコードは、未記録カードを供給するカード供給部2と、カード供給部2からカード搬送路4に取込まれたカードを搬送し、未記録カードに所定の磁気情報を書込むとともに、書込まれた磁気情報に基づき良カードの判定をする書込部3と、書込部3で磁気情報が書込まれた良カードを収納する収納箱5とから概略構成されている。また、書込部3には、良カードと判定されず不良カードと判定されたカードをカード搬送路3から分岐させて収納する不良カード収納箱（図示せず）が設けられている。

【0008】10は磁気情報が未記録の磁気カードで、搬送方向に沿って磁気ストライプ部6が形成され、顧客に対応した管理番号7と、管理番号7に対応したバーコード8とが、それぞれ印刷されている。バーコード8は、顧客データとしての固有の識別データが付され、前記カード供給部2に付設されたバーコードリーダ（図示せず）によって読取られる。20は媒体であるエンコードフロッピーディスク（以下、エンコードFDと称する）で、予め前記バーコード7の識別データに対応したエンコード情報が格納されている。

【0009】次に、このような構成のエンコードによるカード発行動作と、カード発行管理方法を説明する。まず、新規発行する場合には、予めエンコード情報のみが格納されたエンコードFD20をエンコード1に付設したパソコン（図示せず）のドライブに挿入してセットする。そのエンコード情報がエンコードされる未記録カード10には、そのエンコード情報に対応したバーコード7が印刷されている。その未記録カード10をエンコード1のカード供給部2に供給し、バーコードリーダでバーコード7を読取る。読取られたバーコード情報は、エンコードFD20に追加されて、エンコード情報と対となってエンコードFD20に格納されて、エンコードFD201が構築される。

【0010】バーコード情報が格納されたエンコードFD201からエンコード情報をエンコード1に送りエンコード1の書込部2において、未記録カード10にエンコード情報を書込み記録済みカード101を発行する。記録済みカード101はユーザに発送され、カードの発行が終了したら、発行日、発行枚数等の発行情報をエン

コード情報およびバーコード情報とともに日報FD202に格納する。

【0011】そして、これら一連の作業は、新たなエンコード情報を必要とする別のカードを発行する場合も同様な作業を行い、新たなエンコード情報と対となった新たなバーコード情報をエンコードFD201に格納する。このように、エンコードFD201には、多数対のエンコード情報とバーコード情報が格納される。30は日報FD202に基づいて構築されたデータベースである。

【0012】ここで、追加注文があった場合やエンコード作業中にカードに傷を付けて再発行を必要とする場合を説明する。まず、バーコード情報が格納されたエンコードFD201をパソコンのドライブに挿入してセットする。再発行する未記録カード11には、バーコード81が印刷されており、この未記録カード11をエンコード1のカード供給部2にセットして、バーコードリーダによりバーコード81を読み取り、読取ったバーコード情報をパソコンに送り、このバーコード情報と対となったエンコード情報をエンコードFD201から検索する。検索されたエンコード情報に基づきエンコード1の書込部3では、未記録カード11の磁気ストライプ部61にこのエンコード情報を書込み、カードを再発行する。

【0013】このように、再発行する際、再発行の未記録カードに印刷されたバーコード情報に基づき、このバーコード情報と対となったエンコード情報をエンコードFD201から自動的に検索するようにしたので、検索時間が大幅に短縮され、かつ正確で、検索されたエンコード情報をマニュアル操作でエンコード1に送ることなく自動的に送れるので、発行時間の短縮と書込み不良を防止できる。また、エンコード1でのエンコード情報の書込みをバーコード情報に基づき行うようにしているので、エンコード情報の異なる複数種のカード発行を、カード毎に発行作業を止めてエンコード情報を入力することなく、連続的に行うことができ、作業効率が向上する。さらに、バーコード情報からエンコード情報をマニュアル操作を介さずに自動的に検索するようにしたので、第3者に情報が洩れることがなく、このためセキュリティが保護される。

【0014】なお、本実施例では、エンコードFD202等をセットするパソコンをエンコード1に付設するようにしたが、これに限定されず、パソコン機能をエンコード1に内蔵するようにしてもよいことは勿論である。ま

た、情報を格納する媒体としては、フロッピーディスクに限ることはなく、パソコンのハードディスク等種々の設計変更が可能である。

【0015】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、磁気カードに付されたバーコード情報に対応した価値情報を磁気カードにエンコードして磁気カードを発行するとともに、価値情報とバーコード情報とを対にして媒体に格納したので、カードを再発行する際、バーコード情報に基づき媒体に格納された対となった価値情報を検索でき、このため、検索時間が大幅に短縮されかつ正確で、検索されたエンコード情報の入力をマニュアル操作で行うことなく自動的に行われるので、書込み不良を防止できる。また、価値情報の書込みをバーコード情報に基づき行うようにしているので、価値情報の異なる複数種のカード発行を、カード毎に発行作業を止めて価値情報を入力することなく、連続的に行うことができ、作業効率も向上する。バーコード情報から価値情報をマニュアル操作を介さずに自動的に検索するようにしたので、第3者に情報が洩れることがなく、このためセキュリティが保護される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る磁気カード発行管理方法のブロック図である。

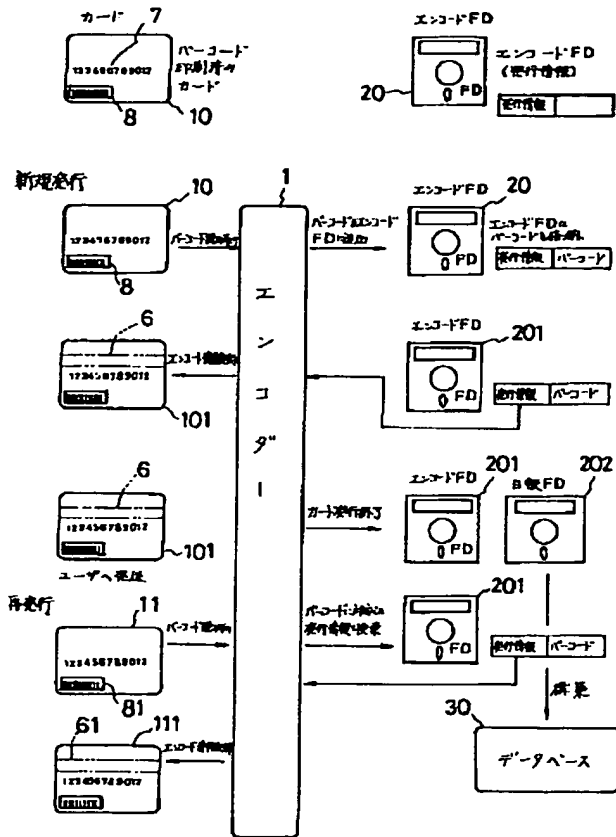
【図2】本発明に係る磁気カード発行管理方法に使用されるエンコードの外観図である。

【図3】本発明に係る磁気カード発行管理方法に使用される磁気カードの平面図である。

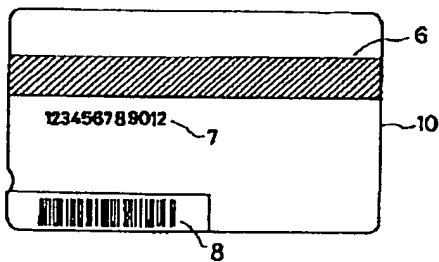
【符号の説明】

- | | |
|-----|----------------------|
| 1 | エンコード |
| 2 | カード供給部 |
| 3 | 書込部 |
| 4 | カード搬送路 |
| 6 | 磁気ストライプ部 |
| 7 | 管理番号 |
| 8 | バーコード |
| 10 | 未記録カード |
| 11 | 再発行の未記録カード |
| 20 | エンコードFD |
| 30 | データベース |
| 101 | 記録済みカード |
| 111 | 再発行の記録済みカード |
| 201 | バーコード情報が格納されたエンコードFD |

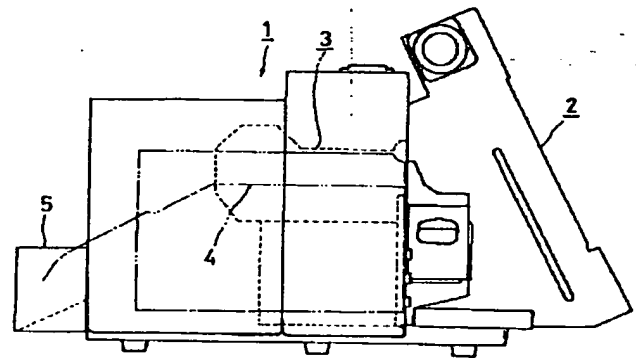
【図1】



【図3】



【図2】



DWPI

DERWENT-ACC-NO: 1995-305063

DERWENT-WEEK: 199540

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Magnetic card management method for telephone cards -
involves bar code
information to magnetic card stored for subsequent reference as
encoded data

PATENT-ASSIGNEE: NTT TELECA CORP[NITE], TAMURA ELECTRIC WORKS
LTD[TAMR]

PRIORITY-DATA: 1993JP-0349269 (December 28, 1993)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	
PAGES	MAIN-IPC		
JP 07200754 A	August 4, 1995	N/A	004
G06K 017/00			

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP07200754A	N/A	1993JP-0349269
December 28, 1993		

INT-CL (IPC): G06K017/00; G06K019/06 ; G06K019/08

ABSTRACTED-PUB-NO: JP07200754A

BASIC-ABSTRACT: The management method includes a management
number (7) on a
record (10) which records the reference information for each
customer. A bar
code (8) is printed on the card such that it corresponds to the
management
number. An encoder (20) keeps an account of the bar code
information
corresponding to that being maintained on the record. Hence the
magnetic card
retains the encoded information corresponding to the bar code
information.

ADVANTAGE - Improves work efficiency, enhances security.

Prevents leak of
information, lowers reference time.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

DERWENT-CLASS: T04

EPI-CODES: T04-C01; T04-C02;